

水産物の市況について(平成30年1月及び2月)

—東京都中央卸売市場における平成30年1月(平成29年12月21日～平成30年1月20日集計)の市況と、
平成30年2月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成30年1月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は前月と比べやや減少となり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は前月と比べやや強含みに推移しました。

II 平成30年2月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月と比べ減少すると見込まれるものの、鮮魚向けのサイズが少ないため卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べ生鮮は減少、冷凍がやや増加すると見込まれ、卸売価格は生鮮はやや強含み、冷凍が横ばいに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	1月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
30年	36	1,258	39	1,212	35	1,136
前年	35	1,230	40	1,189	38	1,086

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2: 入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	1月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	433	123	117	100
さけ・ます(平均)	1,027	99	97	142
(ぎんざけ塩蔵品)	1,031	100	106	128
(あきさけ塩蔵品)	923	100	135	158
(ときさけ塩蔵品)	1,294	100	143	153
(べにざけ塩蔵品)	1,428	100	128	143
(さけ類冷凍品)	995	100	93	149
さば(生鮮品)	497	103	96	111
するめいか(平均)	772	96	79	157
(生鮮品)	764	95	76	151
(冷凍品)	809	100	85	173
あじ(生鮮品)	560	100	99	92
まぐろ(冷凍品)	1,749	102	105	122
(めばち冷凍品)	1,231	100	102	121
(きはだ冷凍品)	1,340	100	152	150
(くろまぐろ冷凍品)	3,283	100	104	89
(みなみまぐろ冷凍品)	2,207	109	106	105

注1: 品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2: 1月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成25年~29年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4: さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先: 水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 井場、山崎、斉藤

直通 03-3591-5612